

製品名: HER2 / ErbB2 (リン酸化スレオニン 686) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86147**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムと 0.1% ゼラチンを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	185kDa

抗原情報

遺伝子名	HER2 / ErbB2 (Phospho-Thr 686)
別名	HER2 / ErbB2 (Phospho-Thr 686)
遺伝子 ID	2064;
SwissProt ID	P04626
免疫原	ヒト由来の Neu の Threonine 686 を囲むアミノ酸残基。

背景

Neu (ErbB-2 赤芽球性白血病ウイルス癌遺伝子ホモログ 2、HER-2、NGL、TKR1、c-erb B2) は、もともとラットの神経膠芽腫からクローン化されました。ヒト Neu は、タンパク質構造がヒト上皮成長因子受容体 (HER) に類似していることから、HER-2 と呼ばれ

ています。ErbB-2は、後にEGFR (HER) をコードすることが判明したErbB (鳥類赤芽球症癌遺伝子B) と高い類似性を示しています。Tyr 1248がリン酸化されているNeuは、齧歯類の乳腺において、ムチン4/シアロムチン複合体とともに、導管細胞および肺胞細胞の頂端面に局在します。NeuのTyr 1139リン酸化は、Srcホモロジー2 (SH2) ドメイン依存性相互作用を介してGRB2とGRB7の会合を促進し、特定の乳がん、胃がん、食道がん、および精巣胚細胞腫瘍の病因に寄与します。NeuのTyr 1221およびTyr 1248リン酸化は、SH2ドメインを介してShc (SH2ドメイン含有トランスフォーミングタンパク質1) の会合を促進します。NeuのTyr 1196およびTyr 1248リン酸化は、PTB (リン酸化チロシン結合) ドメインを介してShcの会合を促進します。SH2およびPTBドメインは、チロシンリン酸化タンパク質を配列特異的に認識し、細胞内標的化、複合体の組み立ての指示、および酵素活性の調節を介して細胞外シグナルを伝達します。

研究分野

-

画像データ



血清飢餓状態のA431 (A)、およびPMA (B)、LPA (C)、セラミド (D)、ブラジキニン (E)、ボンベシン (F) の全細胞溶解物で15分間処理した血清飢餓状態のA431におけるNeuリン酸化のウェスタンプロット分析。